



薫小だより

「気づき・考え・行動する 薫の子」



郡山市立薫小学校

学校便り No.14

令和6年10月16日

文責：校長 齋藤和彦

「下学年遠足」 10/11

～体験を通して育ちます～



青い空によく似合う薫ブルーの運動着。

1～3年生36班編成で、学校周辺ウォークラリーを楽しんだ下学年遠足の日。

チューリップ公園、かおる公園、酒蓋公園、そして校庭の各所に、クイズや問題を用意して待ち構える先生方のチェックポイントを次々にクリアしてゴールをめざします。

赤帽子の3年生が班のリーダーです。終始..列の前後で一列歩行を懸命に守っていました。昨年は黄帽子だった2年生は、1年生の手をとってあげて酒蓋公園の土手を降りています。

「つかれたあ～」「あついよ～」1年生の声に、「もうちょっと行ったらみんなで休もうね。」「がんばって！運動着脱いで半そでになっていよ。」自分もクタクタに疲れているのに、1年生のリュック・水筒を持ってあげて..

暑さや疲れもでると、いろいろと困りごとが出てきますが、『子どもだから、あたり前』です。..先生方は、なるべくちょっと距離をおいて耳と心は大きく開けて、見ないふりして子ども達の自主性や子ども達同士の知恵を待ちます。

しばらくすると、ちゃんとうまくいきます。

3年生も、2年生も、1年生だって、たいしたものです。よくがんばりました！

たくさんの保護者の皆様の安全見守りのご協力のおかげです。～ありがとうございました。



「小体連陸上交歓会」 10/16

～薫小&開成小合同開催～

10月8日(火) 予定されていた市内陸上競技交歓会が雨のため中止となりました。

(今年度は開成山陸上競技場の改修工事のため、田村市競技場で開催される予定でした)

事務局から苦汁の判断「中止」連絡が学校に入ると、担任と陸上担当の先生方の落胆。

そして、「明日に照準を合わせてマックスのモチベーション」の選手に..どのように伝えるか。子ども達のショックと落胆ぶりを想像。

学年主任から選手達に告げられた「中止」。

うつむいて先生の話の聞く選手、ただぼう然と先生を見つめる選手、涙する選手もいました。

～残念ですが、無念ですが、これもまた『本気で取り組んできたからこそその感情』

『懸命に努力した者にしか味わえない感情』

励ます会では誇らしげにユニフォーム姿で全校児童の応援を浴びて。三連休の中も「バトンパスの自主練していいですか」

子ども達のこんな思いを“なんとか..形に”

との思いで、6年生担任は、開成山サブトラックにて、開成小と合同で両校6年生全員参集の中で開催を決めました。

もちろん、双方校長も大賛成。

思い出の1ページに残ることを願います。



◆◆ 校長室より ◆◆ ～子どもを思う..お母さんの心～



「先生..どうしてマラソン大会やるの?」～マラソン大会まで2週間..ある女の子(2年生)のことばでした。

この女の子は、運動が苦手なわけではない子でした。体育のマラソン練習も学級女子16人中、常に4～5番。

「いやだなあ..」授業中の表情もうつむきかげんに..。友だちに聞いても「??」本人と話しても「...」

マラソン大会3日前。絵の仕上げで数人の仲良しが居残りしていた教室の話題は、「家の人に応援に来てくれるんだ」「6位入賞だと、たまごっち何とかバージョン買ってもらえるんだあ!」～楽しそうな雰囲気でした。

その子の家は共働きで、なかなか授業参観出席もむずかしい家庭でした。2年生だということにお弁当を自分で用意してきたこともありました。(でも、Oさんのことを想う姿は学級通信の返信から十分に伝わるお母さんでした)

私が電話でOさんの様子を伝えると、お母さんは、すぐに理由を察してくれました。(さすがです)

「マラソン大会だから見に来て..友だちみたいに応援してほしい..」～「ごめんね。仕事の都合で遠くに...」

...大会当日朝、Oさんは、「おはようございます!」元気に..以前の明るい顔で教室に入ってきました。

「先生にだけだよ。みんなには言わないで。」と、靴下を脱いで見せてくれました。

『フレ!フレ!Oちゃん がんばってね。お母さん』小さな足の裏にマジックで書いてありました。

Oさんは懸命の走りで、ゴールに帰ってきました。学年女子30人あまりの中で、確か...5位でした。

ご褒美をねだるOさんでも、物で褒めるお母さんでもありません。この日、夜遅くに仕事から帰ってきた

お母さんとOさんとのすてきな様子を想像しました。私の忘れられない保護者「お母さんの姿」です。